

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37164
事業名	札幌ドーム保全費					
評価担当課	所属名	ス)スポーツ部 施設課				
	課長名	井上 昭	担当者名	近藤 裕史	電話番号	011-211-3045
施策名	主	多様な交流を支える交流拠点____2____高次機能交流拠点				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	アクションプラン2019活動指標 保全事業の実施率 2022(R4)84%			
		長期	故障等による施設の休館(イベントの中止)日数:0日を目標とし、適切な維持管理を行う。			
	取組内容	札幌ドームにおける保全改修工事の実施 ①各設備の耐用年数等に基づき作成された保全計画による改修を基本として事業を実施していく。 ②設備の劣化状況等により改修時期の先延ばし等、保全計画の見直しを行いながら事業費の平準化を図っていく。 【R3】①可動設備保全②ネットワーク設備保全③蓄電池設備保全④中央監視設備保全⑤広告幕設備保全⑥音響設備保全⑦受配電設備保全⑧遮光幕設備保全⑧一般照明改修				
実施結果	<改修工事> 一般照明設備改修工事 <保全業務> 可動設備保全、ネットワーク設備保全、蓄電池設備保全、中央監視設備保全、広告幕設備保全、音響設備保全、受配電設備保全、遮光幕設備保全					
事業実施における工夫点	なし					
対象者	札幌ドーム利用者	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	建築基準法、電気事業法、消防法					
他都市の状況						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	577,771	800,000	567,058	800,000
うち特定財源	577,771	800,000	334,124	800,000
人工	0.9	0.8	0.8	0.8
人件費	6,480	5,760	5,760	5,760
計(事業費+人件費)	584,251	805,760	572,818	805,760
事業費の内訳	令和3年度決算	改修工事等(都市局委託):269,696千円 保全業務等:297,362千円		
	令和4年度予算	改修工事等(都市局委託):584,453千円 保全業務等:215,547千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	保全事業の実施率(H26-H35)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	68%	76%	75%	86%	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	故障等による施設の休館(イベントの中止)日数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	0日	0日	0日	0日	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	故障等の要因による札幌ドームの休館及びイベント開催の中止は、発生しておらず、成果指標「故障等による施設の休館(イベントの中止)日数:0日」を達成することができた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	施設整備は、耐用年数等から概ね10~20年程度で更新するのが一般的であり、施設を適切に維持管理していく上で妥当である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	各設備の耐用年数及び劣化状況等により、保全計画の見直しを行いながら事業の平準化を図り、事業を適切に実施している。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	保全改修による適切な維持管理は、大規模イベントの継続的な開催が可能となることへ繋がることから、利用者のニーズに応えている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	札幌ドームは、長期休館が困難な施設であることから、極力休業をせずに保全改修を実施する必要がある。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	成果指標「故障等による施設の休館(イベントの中止)日数:0日」を達成できた。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 計画的に保全改修を実施していく。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 今後、老朽化設備が増加していくことから、保全改修費用の増額を要求する。		見直し効果額	0 千円